



# 余土地区まちづくり通信Vol120

令和3年2月1日発行

〒790-0044松山市余戸東4-4-34

☎090-8979-4101

HP:www.yodo-machikyō-net

メール:yodom4010@gmail.com

## 余土地区新成人の皆様

皆様方の成人をお祝いする「余土地区成人式」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止することとなりました。予定していました余土地区成人式で皆様方に直接お祝の言葉を申し上げることは出来なくなりましたので、書面にて新成人の皆様にご心からお祝いのことばを申し上げます。

### ご成人おめでとうございます。

また、これまで愛情深くお子さんを立派な成人に育ててこられましたご両親様はじめご家族の皆様にもお慶び申し上げます。

さて、成人式典は中止となりましたが、余土地区よりお祝いの気持ちを込めて記念品を贈呈いたします。この記念品は、皆様方へお願いの2つから選定いたしました。

一つ目は、皆様の生活の足元である住んでいる地域社会に関心を持ってほしいことです。地域社会に関心を持つことは、「自分も含んだみんなの幸せに関わること」に関心を持ち、積極的に参画することです。若いうちは、自分の学業や就職、恋愛や結婚のことなど「個人的なもの」「自分のこと」で手一杯かもしれませんが、人は一人で生きていけないものではなく、お互いが支えたり、支えられたりして生きていくものでありますから、公共的なもの、地域行事等に関心と参画することを強く期待しています。このような意味から余土地区まちづくり協議会が編集・発行しました「余土ぶらっと見て歩き」という余土地区のガイドブックを選びました。余土地区に関心を持っていただき、ふるさと「余土」をさらに好きになってください。

二つ目は、「仕事は自ら創り出すもので与えられるものではない。」ということです。会社組織での自らの働き方は、会社・上司から与えられた仕事を計画的に手際よくこなしていくことが基本ですが、これからの時代は、指示された仕事、与えられた仕事だけではなく、自分から何かをやるという貪欲な姿勢が求められています。明治時代に「天下の模範村の余土村を作った森盲天外翁」は、理想の村づくりのために土地、人口、産業など22項目に渡っての調査を行い、それを分析・研究して「村是7綱目」を定め、自分が描いた理想の村づくりのため、自らが仕事を作っていました。皆様が余土村の生んだ先人の教えを糧に、これからの厳しい時代に打ち勝つ逞しい社会人になってもらいたいと願うものであり、「お箸」を選びました。

新成人の皆様のご活躍と新たに迎えました2021年が佳き年となりますよう祈念申し上げます。

令和3年1月吉日

余土地区成人式実行委員会

### 記念品紹介



#### 「余土ぶらっと見て歩き」

2020年に余土地区まちづくり協議会が「余土を知ればもっと余土が好きになる」との思いから、「余土ぶらっと見て歩き」というガイドブックを作成しました。余土の歴史や史跡等の写真と解説を載せていますから、この本を手元に置いていただき、ふるさと「余土」をいつでも思い出していただきますよう贈呈いたします。

#### 成人記念「お箸」

明治時代、余土村を天下の模範村と言われた村を作った「森盲天外」は、34歳で失明したとき、「一粒の米」から希望を持って、明るくたくましく生きることの大切さを知りました。この教えは、余土で育った子供たちの心の支えとして今日までつながっています。「一粒の米」の精神を忘れないでとの思いから成人の記念として「お箸」を選びました。

## 1月新刊のお知らせ

### まちづくり文庫



余土公民館図書室の「まちづくり文庫」に下記の図書を購入しましたのでご利用ください。

余土公民館図書室は、毎週月曜日と金曜日の10時から12時に開館し本の貸出（貸出期間：2週間）を行っています。

図書名（著者名）	図書名（著者名）	図書名（著者名）
マカロンはマカロン（近藤史恵）	犬がいた季節（伊吹有喜）	作家の贅沢すぎる時間（伊集院静）
カカ・ムラド（ガフワラ）	始まりの木（夏川草介）	ぱりとろ（高田在子）
盤上の向日葵（上）（柚月裕子）	盤上の向日葵（下）（柚月裕子）	私はあなたの記憶の中に（角田光代）
炉辺の風おと（梨木香歩）	ハグとナガラ（原田マハ）	とわの庭（小川 糸）
88歳の自由（曾野綾子）	回廊邸殺人事件（東野圭吾）	風のかたみ（葉室 麟）
JR上野駅公園口（柳 美里）	優しい音楽（瀬尾まいこ）	きのうのオレンジ（藤岡陽子）
赤い砂を蹴る（石原 燃）	アウア・エイジ（岡本 学）	首里の馬（高山羽根子）
破局（遠野 遥）	雲を紡む（伊吹有喜）	銀花の蔵（遠田潤子）
「めんどくさい」をやめました（やましたひでこ）	能楽ものがたり	稚児の桜（澤田瞳子）

## 各地区・団体からの情報コーナー

### 第4回「落語で初笑い！毎年恒例らくさぶろう新春寄席」開催

さくら児童クラブ運営委員会・保護者会主催（余土まちづくり協議会共催）の第4回「落語で初笑い！毎年恒例らくさぶろう新春寄席」が1月5日（火）に余土公民館大会議室で開かれました。この新春寄席は、「日本の伝統話芸である落語の楽しさ」と「正しい日本語だけで楽しい会話ができること」を子どもたちに伝えたいとの目的で開催しているもので、今回で4回目を迎えます。今回は、「らくさぶろうさん」と「ひめさぶろうさん」による寄席が行われました。当日は、小学校低学年対象の部と高学年・大人対象の部の2部構成で行われ、子どもたちは落語の所作や言葉遊びを通じて日本の伝統芸能である「落語」の楽しさを味わっていました。



## 余土公民館だより

### 「令和3年度余土公民館年間使用調整会」開催案内！！

余土公民館年間使用調整会に出席すると、令和3年4月1日から令和4年3月31日の期間中について日程を仮予約することが出来ます。会議室・学習室・体育室等の使用を希望する団体は、「公民館使用希望調査票」と「松山市公民館使用団体チェックリスト」を事前に提出しなければ調整会には出席できません。

なお、民間の事業者も公民館を使用することは可能ですが、公民館内での物品販売等の行為をする場合は使用できませんのでご注意ください。

開催日時 令和3年3月2日（火）18：00～  
 会場 余土公民館 大会議室（2階）  
 書類提出期限 令和3年2月15日（月）

※ 調査票等の用紙は公民館窓口で配布しています。

## 「令和3年度余土地区学校開放体育施設年間使用調整会」開催案内！！

松山市では、「松山市立学校体育施設の開放に関する規則」に基づき、学校の体育施設の住民の皆様が利用に供するため学校の体育館を開放しています。

余土地区には、余土小学校、さくら小学校、余土中学校の3校ありますが、それぞれの学校の体育施設の年間使用の仮予約が出来る調整会を開催することとなりました。

ついでに、令和3年4月1日から令和4年3月31日の期間中に余土小学校体育館、さくら小学校体育館、余土中学校体育館・柔剣道場を定期的に使用したい団体は、下記のとおり日程調整会を開催しますので、ご参加ください。

なお、調整会に出席できるのは、事前に使用団体登録申請書及び学校開放体育施設使用申請書の提出があった団体等に限られますので、ご注意ください。

開催日時 令和3年3月11日(木) 18:00～

会場 余土公民館 大会議室(2階)

申請書の提出締切 令和3年2月25日(木)

※ 申請書の用紙は公民館窓口で配布しています。



### 公民館玄関ロビーに3月3日から「ひな人形」を飾ります。

3月3日は「ひな祭り」、この日は女の子の節句です。「うれしいひな祭り」の歌にもあるように、ひな人形を飾り、桃の花を生け、草餅や菱餅をそなえて女の子の健やかな成長を祈る節句の年中行事です。

コロナ禍で、公民館事業も縮小したり中止になった行事もあった令和2年度ですが、こんな状況だからこそ、「ひな人形」を飾ろうと3月3日(水)～4月3日(土)の間、余土公民館玄関ロビーに七段飾りの十五人揃えの雛段を飾りますから、公民館へ見に来てください。

ところで、「ひな祭り」の由来はご存知でしょうか。「ひな祭り」はいつ頃から始まったのか歴史的には判然とせず、その起源説は複数あります。平安時代の京都で既に平安貴族の子女の遊び「遊びごと」として行われていたという記録があるそうです。始めは儀式ではなく遊びであり、雛祭りが「ひなあそび」とも呼ばれるのはそのためです。一方、平安時代には川へ紙で作った人形を流す「流し雛」があり、3月の節句として雛人形は「災厄除け」の「守り雛」として祀られるようになったと言われています。当時の乳幼児の死亡率は現代とは比較にならないほど高く、赤ん坊のうち亡くなることは珍しくはなかったため、親としては必死の思いで我が子の成長を見守るため厄除けとし、1年の災いを春のひな流しで祓うことが、「ひな祭り」の起源だと言われています。

江戸時代になり、女の子の「人形あそび」と「節句の儀式」が結びつき、また、人形の制作技術の発展によりさまざまな人形が作られるようになり、ひな人形は豪華で立派になっていきました。



### 家庭に眠っている「鯉のぼり」を募集します。

余土公民館では、「子どもの健全育成推進事業」として、3月に「ひな段飾り」と5月に「鯉のぼり」を公民館に飾って、子どもたちの健やかな成長を祈る事業を展開しています。3月の「ひな段飾り」は上記の通り実施に向けて準備を進めていますが、5月の「鯉のぼり」についても準備に取り掛かっています。

つきましては、ご家庭で眠っている「鯉のぼり」がありましたら、公民館にご寄贈をお願いいたします。

【受付内容】 鯉のぼりの寄付(大きさ:1m～3m)

【受付期間】 令和3年3月1日(月)～4月16日(金)

【受付方法】 余土公民館へ直接お持ちください。

【その他】 寄付いただいた「鯉のぼり」は返却できません。また、劣化により使用できなくなった鯉のぼりは、当方の判断で処分させていただきます。



—余土の魅力PR事業のお知らせ—

「余土の風景」絵はがきシリーズ 第2弾



「花のある余土の風景8景」絵はがき 販売開始！！

見慣れた余土の風景を「絵はがき」にする第2弾として、地域の皆様方から写真を募集しました「花のある余土の風景8景」が出来上がりました。親元を離れて都会で暮らすお子さんやお孫さんへの便りとして、また、古郷を離れて暮らす同級生との消息用のはがきなどにお買い求めの上ご活用ください。

余土の風景絵はがき(2)

「花のある余土の風景8景」

絵はがき 8枚セット  
内容

- ① 石手川に咲く菜の花
- ② 坊っちゃんスタジアムとハナミズキ
- ③ オレンジの電車とつつじ
- ④ 一里塚とガザニア
- ⑤ 素鷲神社の椿
- ⑥ 素鷲神社に咲く彼岸花
- ⑦ 保免中交差点の花壇
- ⑧ さくら小学校とさくら

販売価格 1セット 150円



《絶賛販売中》

★余土ぶらっと見て歩き★

余土のことをもっと知りたいと思う方の必携ガイドブック

大きさ A5版

ページ 64ページ

内容 神社・仏閣 句碑・石碑 史跡 橋 駅 公共施設 河川  
道路 余土の木・花 余土村歌 余土の昔の道 余土村の歴史  
歴代余土村長・助役 地名の由来

販売価格 300円



★余土の風景絵はがき—重信川と石手川が流れる町—★

- ① 重信川渡し跡と出合橋
- ② 出合鉄橋を走る伊予鉄電車
- ③ 残光に映える出合橋
- ④ 悠々と流れる重信川
- ⑤ 松山外環状道路から望む石手川
- ⑥ 出合橋と旅立ち
- ⑦ 石手川と愛媛県武道館

販売価格 1セット 150円



【販売所】 余土地区まちづくり協議会  
松山市余戸東4丁目4番34号(余土公民館内)

【販売時間】 月曜日～金曜日 9:00～12:30